カテゴリ：地域活性化

2026年11月6日

中四国地域初、愛媛県大洲市にて学生と地域をつなぐ「JALガクツナプロジェクト」を開催

～観光まちづくりのまち大洲で、学生6名が地域課題の解決に挑む滞在型インターンシップ～

JALは、愛媛県大洲市、バリューマネジメント株式会社、一般社団法人キタ・マネジメントなどと連携し、中四国地域で初めて「JALガクツナプロジェクト」(*1)を開催します。本プロジェクトは、JALグループ経営ビジョン2035で掲げる「関係・つながり」共創の一環として、地域貢献に関心を持つ学生と、地域の課題解決のために若い人財や新たな視点を求める地方自治体・地域事業者とをつなぎ、地域に継続的に関わる「関係人口」の創出を目指す、滞在型のインターンシッププログラムです。

(*1)JALガクツナプロジェクトについて https://www.jal.co.jp/jp/ja/dom/kantsuna/gakutsuna/



ガクツナ



愛媛県大洲市は、城下町の歴史的なまちなみの再生や古民家を活用した観光まちづくりが進められており、その先進的な取り組みは国内外から高く評価されています。一方、観光による一時的な訪問にとどまらず、地域経営やまちづくりに役割を持って持続的に関わる人財を、いかに増やしていくかが重要な課題となっています。

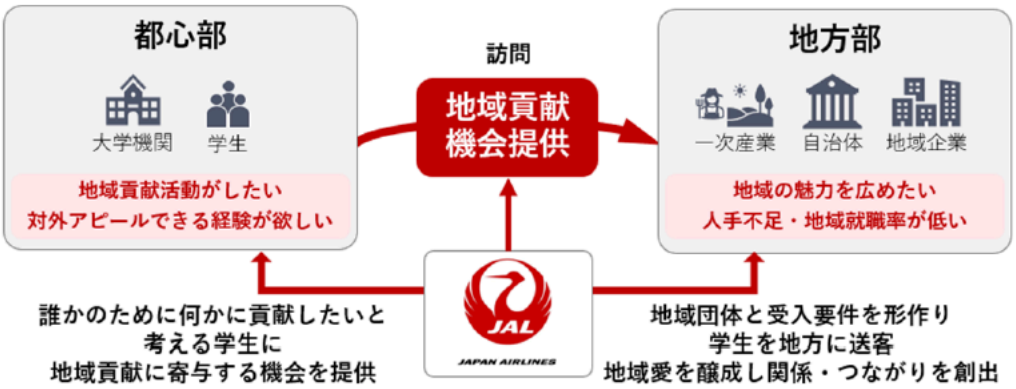
本プログラムには、主催者として、歴史的建造物の保存・利活用などを推進するバリューマネジメント株式会社と一般社団法人キタ・マネジメントが、運営協力として、地域金融の観点から事業性を支援する株式会社伊予銀行、ならびに政策・行政を担う大洲市、観光まちづくりや宿泊事業を運営する風のヘリテージ株式会社が参画します。

参加学生は、オンラインでの事前学習と大洲市での7日間のフィールドワークを通じ、まちづくり、観光・宿泊事業、行政、金融機関などの多角的な視点から地域課題を考察します。地域の事業者や住民との対話を重ねながら、観光まちづくりとして成果を創出している大洲において、「観光客が旅の中で役割を見つけ、大洲を再訪し、継続的に関わる仕組み」を検討し、具体的な施策として提案します。

JALは2026年3月に大洲市と包括連携協定を締結して以来、地域活性化に向けた取り組みを推進しています。本プロジェクトでは、学生の成長機会を創出すると同時に、事業終了後も大洲市との交流が継続する持続可能な関係人口の形成を目指します。今後も人と地域を結び付けることで新たな価値を創出し、地域の皆さまと協力しながら持続可能な地域社会の実現を目指してまいります。

■「JALガクツナプロジェクト」とは

地域貢献に関心を持つ「ガク（学生）」と、若い人財や新しい視点を求める自治体・地域事業者をJALがマッチングし、地域との深いつながり「ツナ（つながり）」を生み出す滞在型プログラムです。終了後もその地域が「自分のお気に入りの場所」となり、継続的に関わり続ける関係人口の創出を目指しています。



【プログラム概要】

1. プログラム日程・内容

（1）事前プログラム（オンライン）

開催時期：2026年12月から2027年1月中の3日間

主な内容：

・地域課題および大洲市の観光まちづくり（歴史的街並み再生等）の背景・理念の理解

・チームごとのテーマの深掘りと現地フィールドワークに向けた仮説検証の準備

（2）現地プログラム（愛媛県大洲市）

開催期間：2027年2月16日（火）～2月22日（月）の7日間

主な内容：

・観光まちづくり現場、歴史的建造物・ホテル現場視察と地域事業者・住民との対話

・「役割を持って再訪する仕組み」の構想立案と現場での検証

・行政・事業者・金融機関・DMO(*2)との対話および成果発表

・施策提案と多面的なフィードバックを通じた提案のブラッシュアップ

(*2)DMO(Destination Marketing / Management Organization)＝観光地域づくり法人

2. 募集概要

募集人数	6名
対象	大学生、大学院生
募集期間	2026年11月6日（金）～11月27日（金）
選考方法	書類選考およびオンライン面接を予定
参加費	プログラム参加費：無料　※主催者が宿泊先を手配し、費用を負担します 食費：一部を除き、参加者の負担となります
交通支援	参加者1名につき20,000マイル（東京（羽田）＝松山往復航空券相当）を付与します
詳細・お申込み	https://furumusu.jal.co.jp/

以上